

**令和 7 年度
在宅介護実態調査
報 告 書**

令和 8 年 7 月

雲南広域連合

目 次

在宅介護実態調査	3
第1章 調査の概要.....	3
1 調査概要.....	3
第2章 調査の結果.....	4
1 A 票調査結果.....	4
2 B 票調査結果.....	8
第3章 集計結果からの分析	9
1 集計分析方法.....	9
2 要介護者の在宅生活の継続について	9
3 介護者の就労継続について	12
4 保険外の支援・サービスについて.....	14
5 世帯類型別の状況について	16

在宅介護実態調査

第1章 調査の概要

1 調査概要

(1) 調査の目的

「雲南地域第10期介護保険事業計画」の策定に向け、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた施策のあり方を検討するための基礎的データを収集することを目的とします。

(2) 調査の設計

調査内容	国が示した「在宅介護実態調査票」
調査対象者	主に在宅で要支援・要介護認定を受けている高齢者及び主な介護者
調査手法	認定調査員による聞き取り調査及び郵送による配布・回収
調査期間	聞き取り調査：令和7年10月1日～令和8年1月31日 郵送調査：令和7年12月10日～令和7年12月26日
調査内容	A票：ご本人向け 問1～問14 B票：主な介護者向け 問1～問5

(3) 回収結果

本調査の有効回収数及びA票、B票の回答状況は次のとおりです。

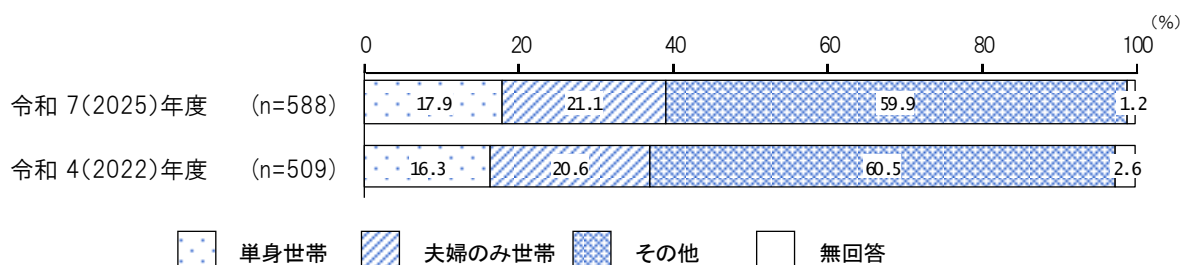
区分	有効回収数	A票回答	B票回答
雲南広域全体	588人	588人	397人
雲南市	403人	403人	271人
奥出雲町	122人	122人	79人
飯南町	59人	59人	43人
区分不明	4人	4人	4人

第2章 調査の結果

1 A 票調査結果

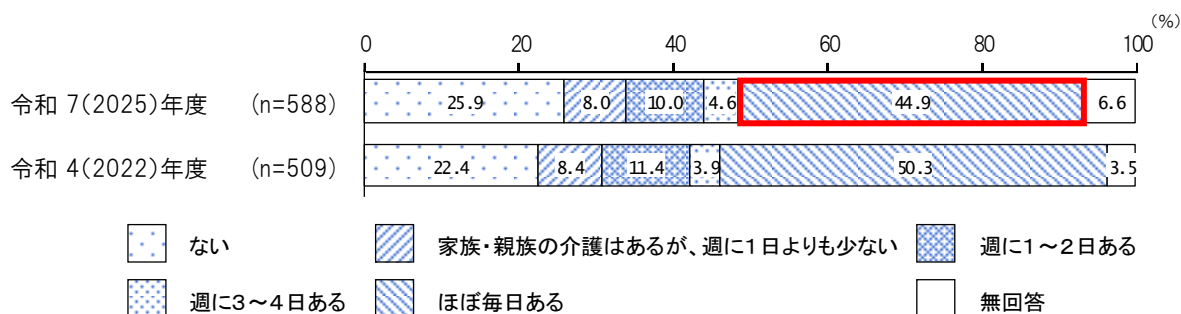
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「その他」が59.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」（21.1%）、「単身世帯」（17.9%）となっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

全体でみると、「ほぼ毎日ある」が44.9%と最も高く、次いで「ない」(25.9%)、「週に1～2日ある」(10.0%)となっています。

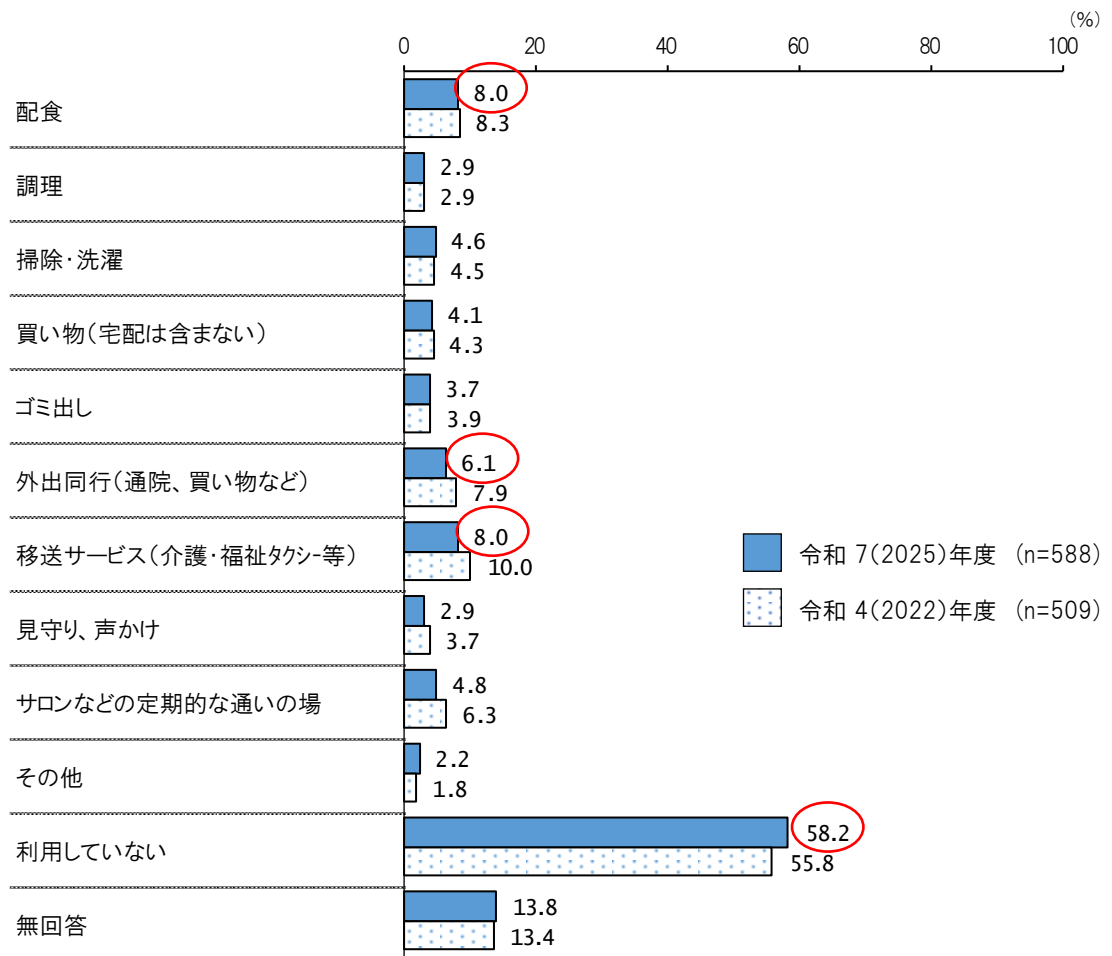


【A 票 問2で「家族や親族等からの介護がある」と回答した方】

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)

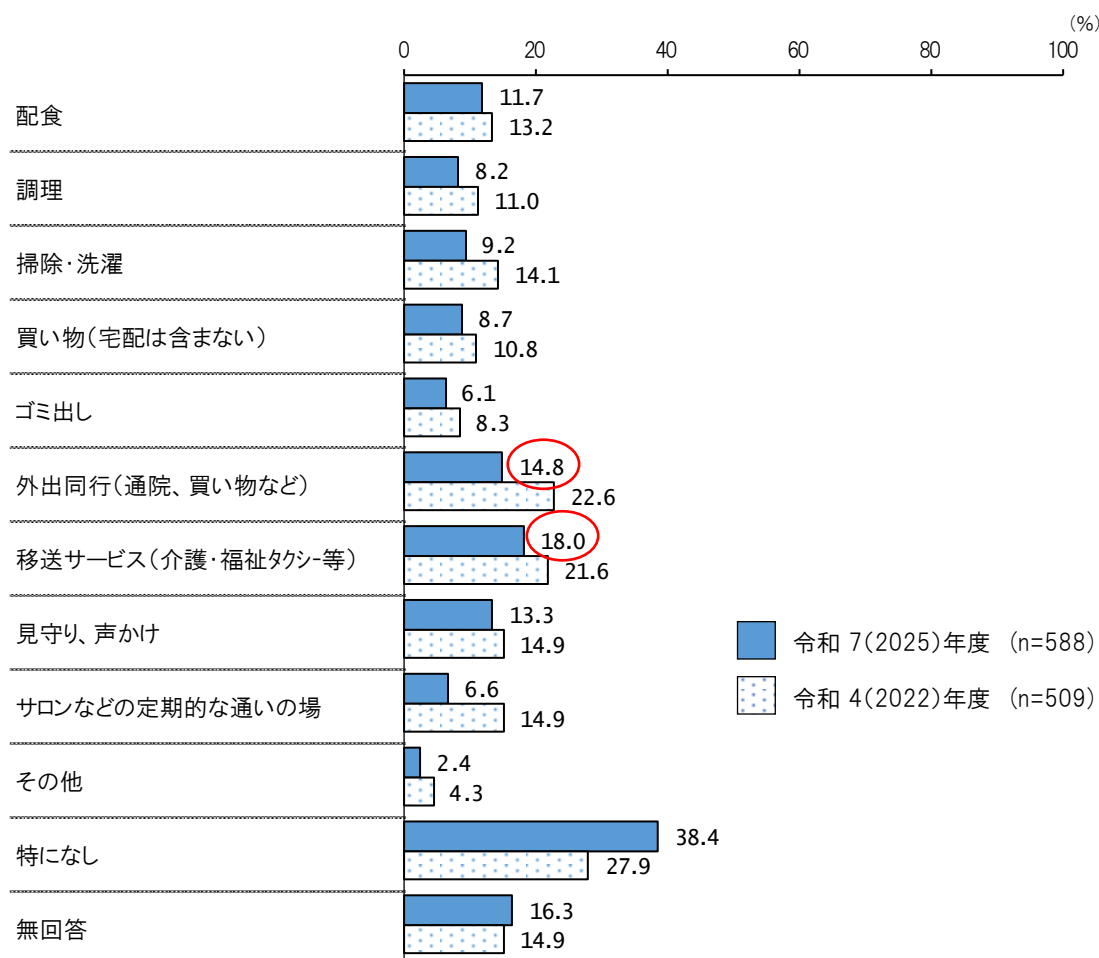
全体でみると、「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（6.1%）となっています。

「利用していない」は58.2%となっています。



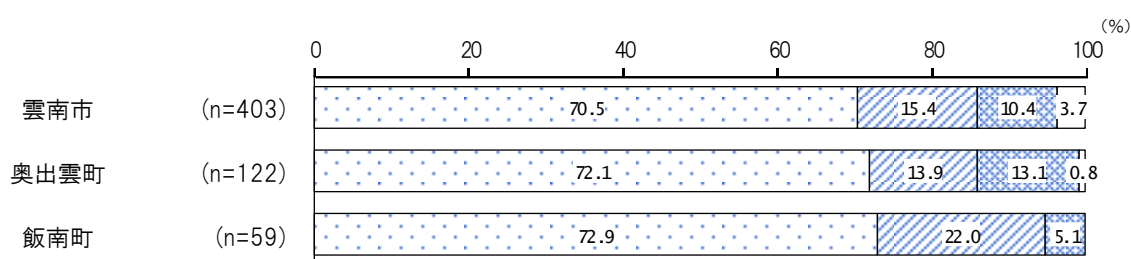
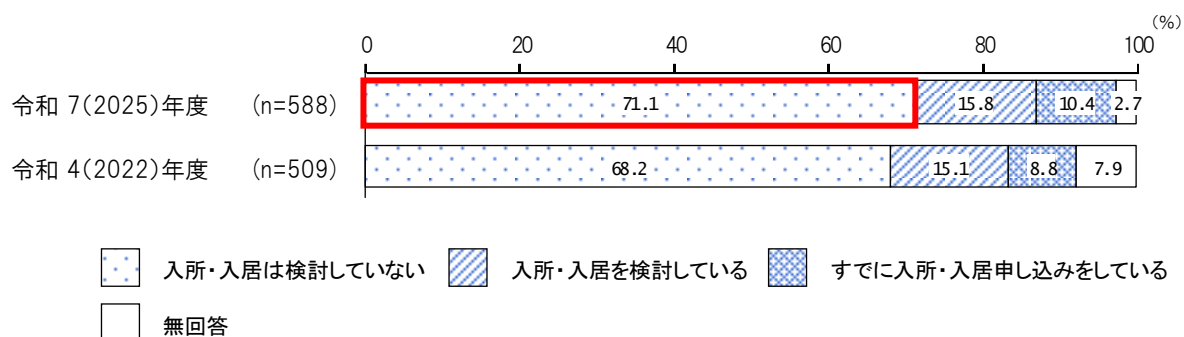
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているか、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

全体でみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（14.8%）となっています。



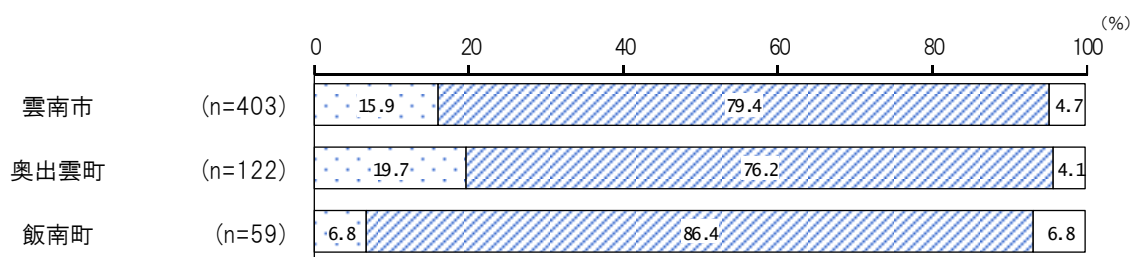
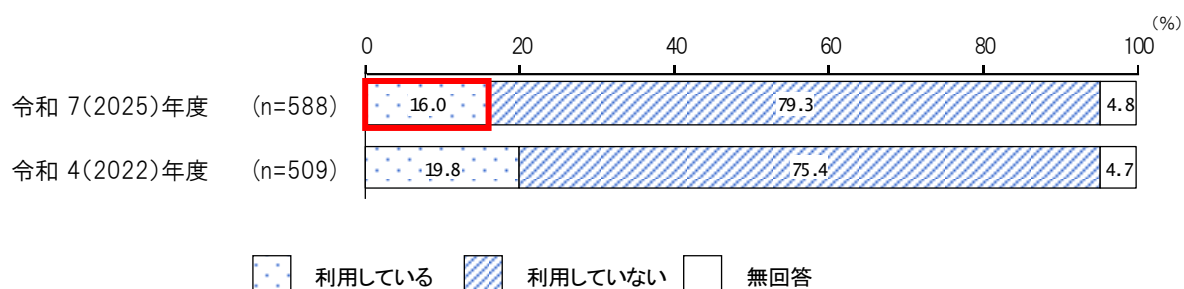
問 1 0 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「入所・入居は検討していない」が71.1%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」（15.8%）、「すでに入所・入居申し込みをしている」（10.4%）となっています。



問 1 2 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

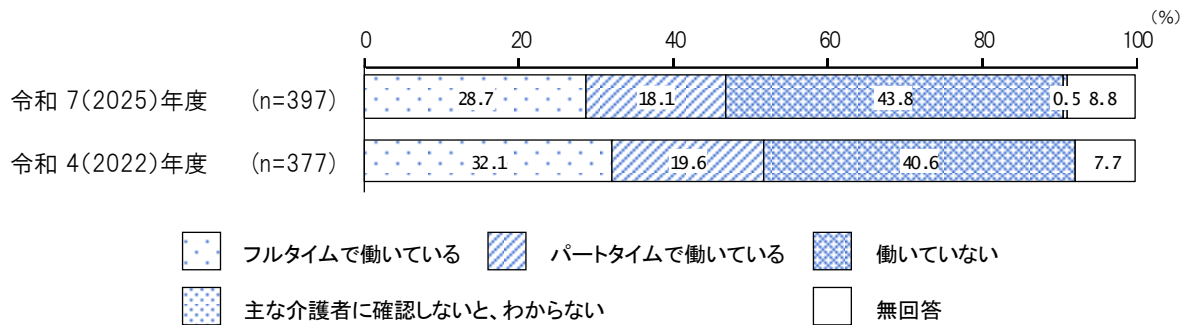
全体でみると、「利用していない」が79.3%、「利用している」が16.0%となっています。



2 B 票調査結果

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

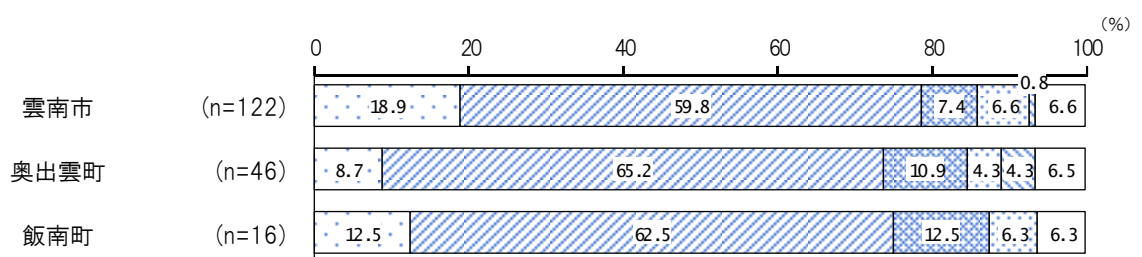
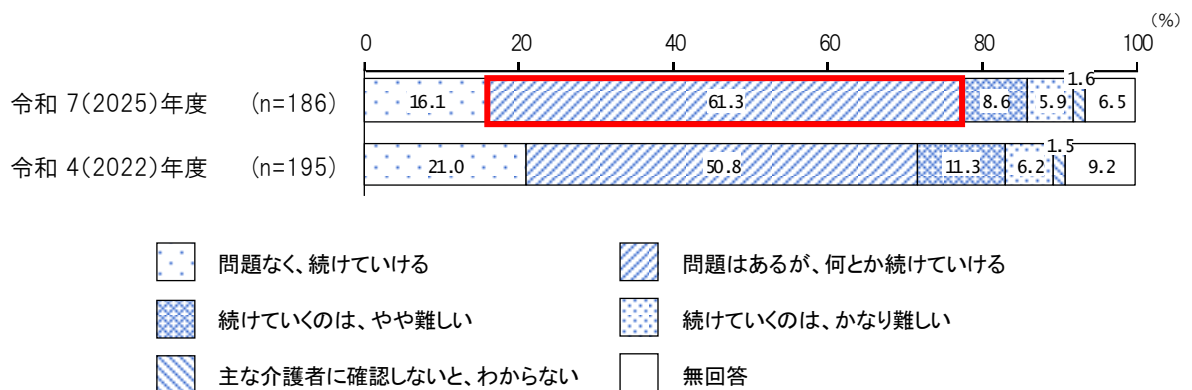
全体でみると、「働いていない」が43.8%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」（28.7%）、「パートタイムで働いている」（18.1%）となっています。



【B 票 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

全体でみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が61.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」（16.1%）、「続けていくのは、やや難しい」（8.6%）となっています。



第3章 集計結果からの分析

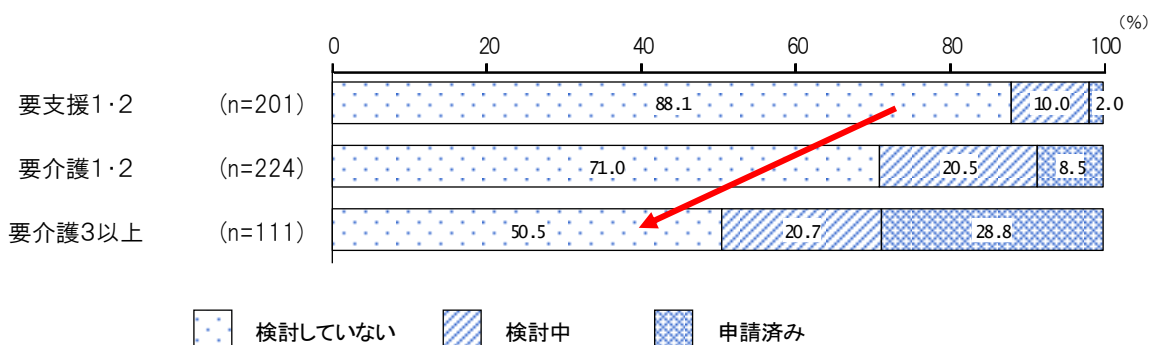
1 集計分析方法

集計分析については、国が提供する「在宅介護実態調査 自動集計分析ソフト」を活用しています。グラフは無回答を除いた割合で表示しています。

2 要介護者の在宅生活の継続について

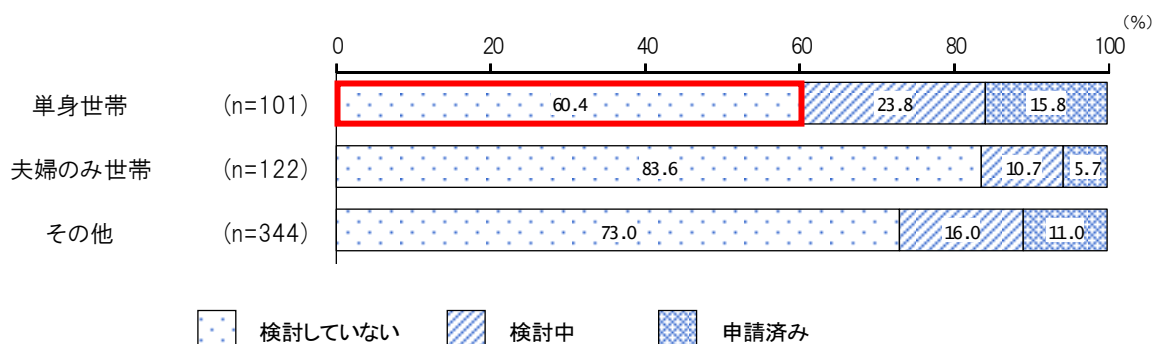
(1) 要介護度別・施設等検討の状況

要介護度別・施設等検討の状況を見ると、重度化するにつれ「検討していない」の割合が低くなっています。「要介護3以上」で「申請済み」の割合は28.8%となっています。



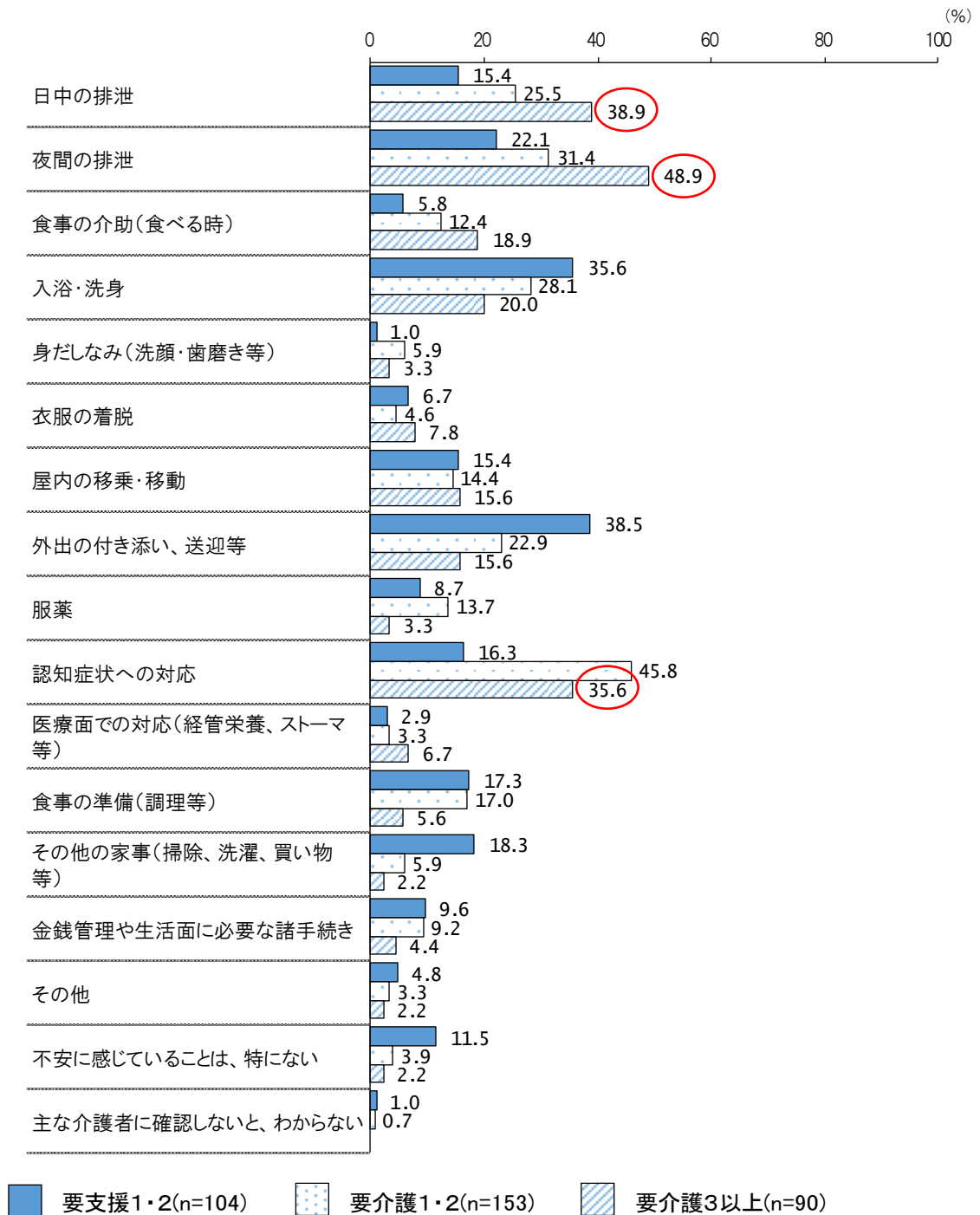
(2) 世帯類型別・施設等検討の状況

世帯類型別・施設等検討について、「単身世帯」でみると、「検討していない」の割合は60.4%となっており、「夫婦のみ世帯」(83.6%)、「その他世帯」(73.0%)に比べ低くなっています。



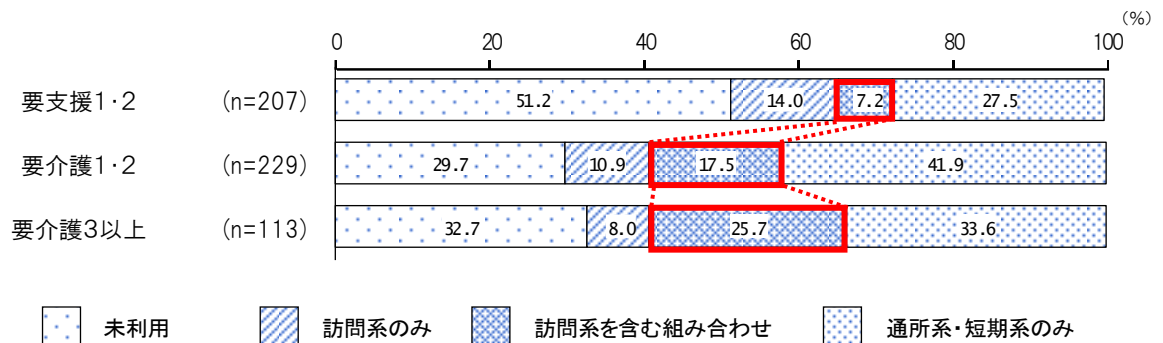
(3) 要介護度別の介護者が不安に感じる介護

要介護度別の介護者が不安に感じる介護について「要介護3以上」でみると「夜間の排泄」が48.9%と最も高く、次いで「日中の排泄」(38.9%)、「認知症への対応」(35.6%)となっています。



(4) 要介護度別のサービス利用の組み合わせ

要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。



【サービス利用の分析に用いた用語の定義】

用語		定義
未利用		「住宅改修」「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方は、未利用として集計
訪問系		(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系		(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系		(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能	(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

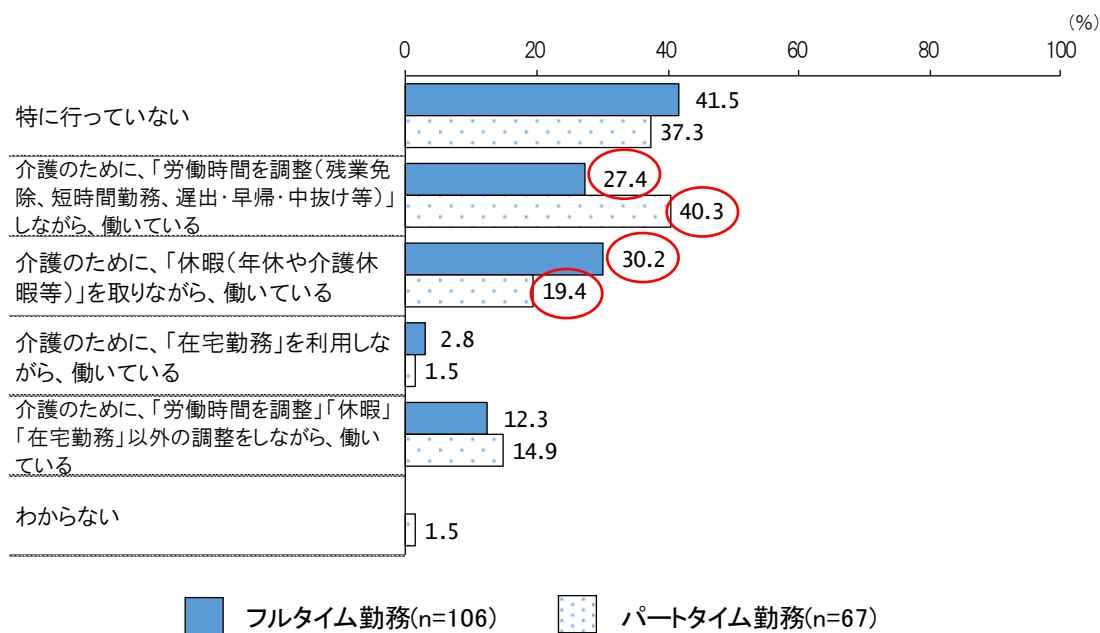
【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計

3 介護者の就労継続について

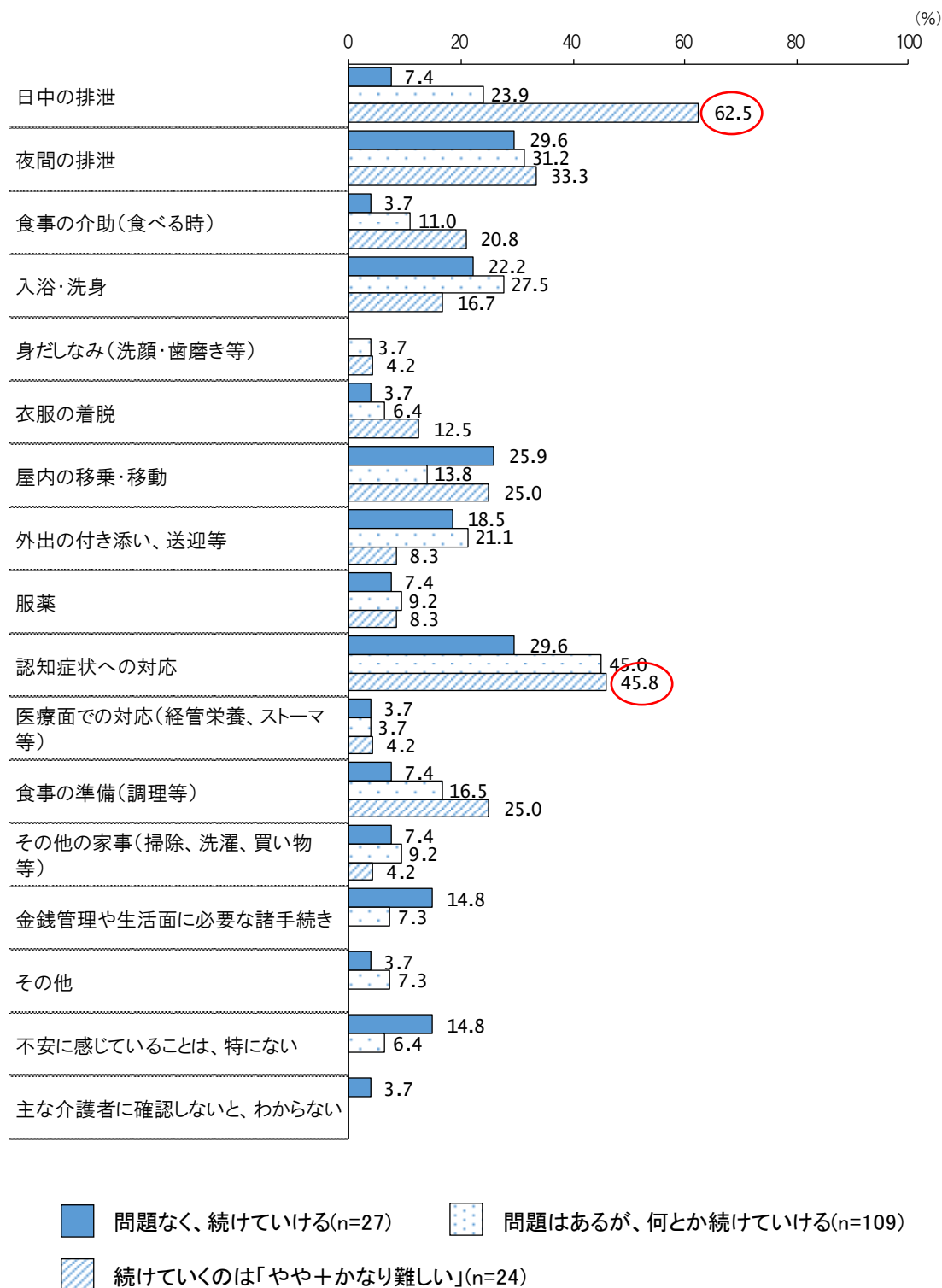
(1) 就労状況別・介護のための働き方の調整

就労状況別・介護のための働き方の調整をみると、フルタイム勤務では「介護のために、休暇を取りながら、働いている」が30.2%と最も高く、次いで「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」(27.4%)となっています。パートタイム勤務では「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」が40.3%と最も高く、次いで「介護のために、休暇を取りながら、働いている」(19.4%)となっています。



(3) 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）

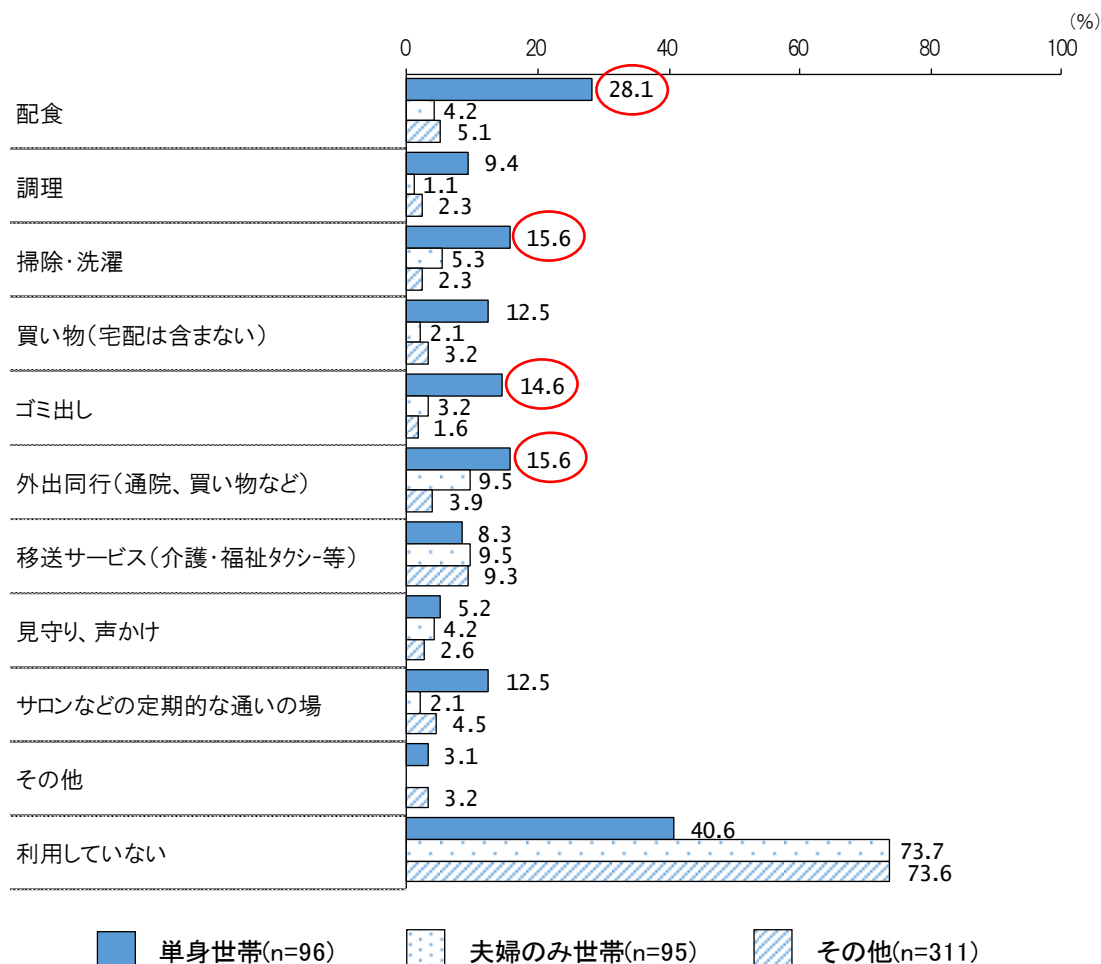
介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「日中の排泄」が 62.5%と最も高く、次いで「認知症状への対応」(45.8%) となっています。



4 保険外の支援・サービスについて

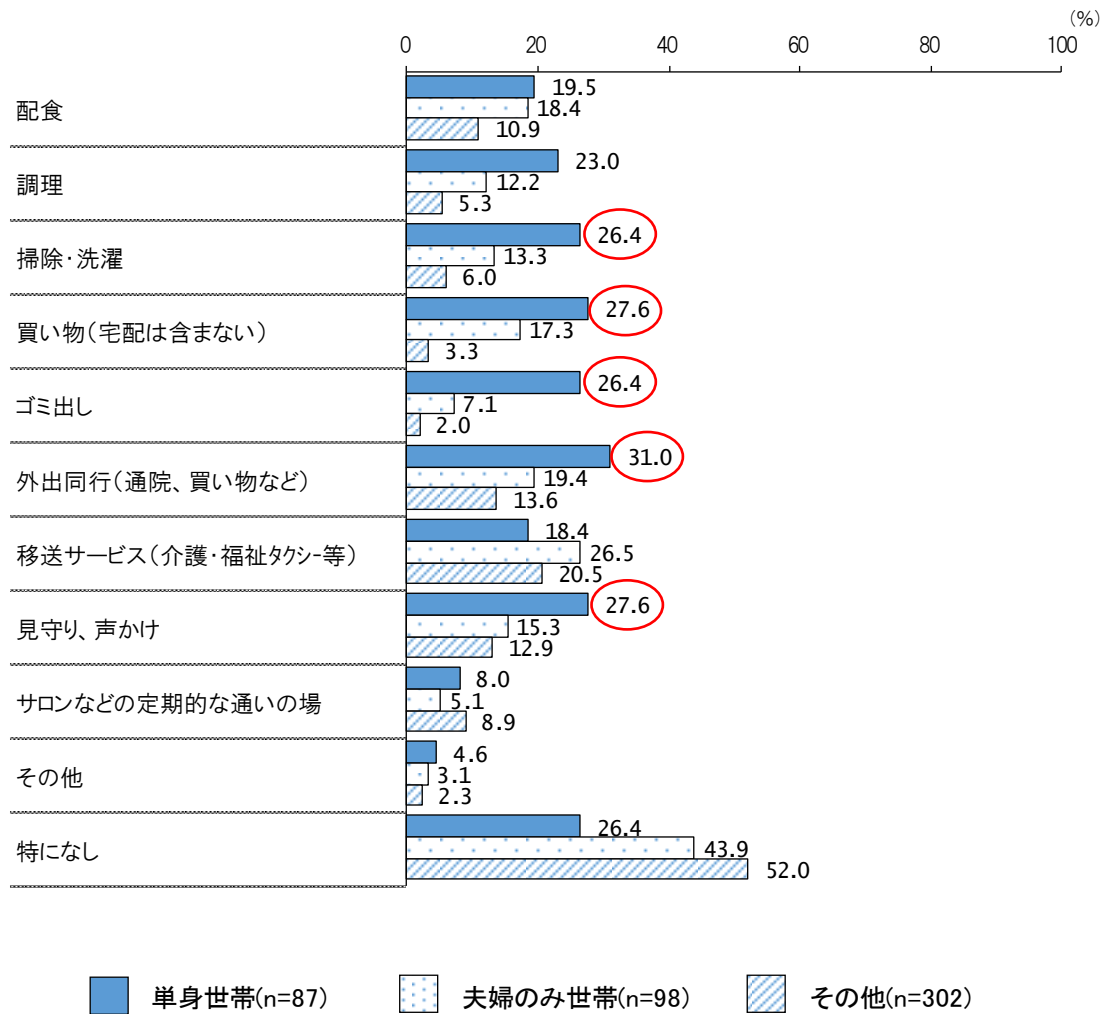
(1) 世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況

世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況について、「単身世帯」でみると「配食」が28.1%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」（15.6%）、「ゴミ出し」（14.6%）となっています。



(2) 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる保険外の支援・サービス

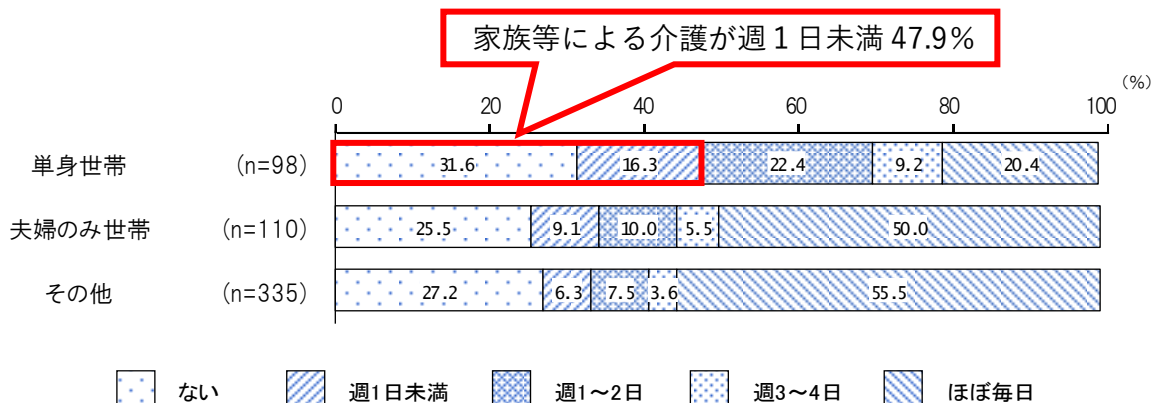
世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる保険外の支援・サービスについて、「単身世帯」でみると「外出同行（通院、買い物など）」が31.0%と最も高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」「見守り、声かけ」（27.6%）、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」（26.4%）となっています。



5 世帯類型別の状況について

(1) 世帯類型別・家族等による介護の頻度

世帯類型別・家族等による介護の頻度について、単身世帯でみると、家族等による介護が「ない」が31.6%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が16.3%となっており、合わせると47.9%の方が家族等による介護が週1日未満となっています。



(2) 世帯類型別・サービス利用の組み合わせ

世帯類型別・サービス利用の組み合わせについてみると、いずれの世帯類型も重度化するにつれ「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。

